編集後記

ここに『グローバル共生』の最新版をお届けします。今号は「女性」をめぐる課題に注目しました。現在、女性を取り巻く状況は大きく変化しています。女性の平均寿命は87才まで延び、働く女性が圧倒的に増えつつも、多くは非正規雇用で男女の賃金格差は埋まりません。性別役割分業は固定されたままで、女性の役割はますます増えています。例年、私のゼミ生の何人かは、卒業論文テーマで自衛官や宮司など特殊な仕事に就く女性たちに注目し、創意工夫を凝らして働く様子を聞き取りします。そこで学生たちは、必ずと言って良いほど、ジェンダー・ギャップ指数の日本ランキングが惨憺たる状況を指摘し、どうやって苦難を乗り越えて人生を切り拓くか、サバイバーとしてのエピソードを聞いてきます。今号の特集論文のなかで安齋先生が日本を「女性活躍後進国」と書いていましたが、学生たちも卒業後に待ち受ける、決して楽ではない状況をすでに理解しているのです。

そうした中での女性展、緒方展の開催は大きな意味がありました。この展示業務は、学科を超えた10人以上の学内の教員や研究員が関わりましたが、「あなたたちは世界のどんな場所でも、その場に愛の灯を掲げる女性になりなさい」という初代学長マザー・ブリットの言葉が、私たち制作者の頭のどこかにいつもあったように思います。困難な日本社会の現実を正しく理解しつつも、明るく社会を変革する働きかけのできる女性になって欲しい、そんな願いを込めました。グローバル共生研究所の展示・研究活動が、若い女性たちの道しるべとなり、女性が活躍できる社会の実現に向けて力強く後押しできることを願ってやみません。

『グローバル共生』第３号　編集責任者
聖心女子大学グローバル共生研究所 副所長
石井洋子

グローバル共生 Vol.3（2024）
発行日　2024年12月20日
発行者　聖心女子大学グローバル共生研究所
〒150-8939　東京都渋谷区広尾4-2-24
聖心グローバルプラザ
https://kyosei.u-sacred-heart.ac.jp/

※文章・画像等の内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください。

グローバル共生研究所　所員リスト（2024年度）

所長　植田 誠治　教育学科　教授
副所長　永田 佳之　教育学科　教授
副所長　石井 洋子　人間関係学科　教授
専任所員　神田 和可子　グローバル共生研究所　助教
兼任所員　濱口 壽子　英語文化コミュニケーション学科　准教授
兼任所員　岩田 一成　日本語日本文学科　教授
兼任所員　上石 学　哲学科　准教授
兼任所員　桑名 映子　史学科　教授
兼任所員　奥切 恵　国際交流学科　教授
兼任所員　石黒 千晶　心理学科　専任講師
兼任所員　杉原 真晃　教育学科　教授

※職名は2024年４月時点に準じます。